

# SYNAPSE

企業AI統合プラットフォーム

AIの答えを、部署で揉み、全社へ上申する。

## 重要な判断は複数AIで検討。 部門で反証し、 全社判断へ上申する。

会社知識をもとに、一部署の重要判断を最大4役で検討。独立検討、比較・反証、部内統合を経て、必要な案件だけ全社整理から人の決定へつなぎます。複雑なプロジェクトを、より高い完成度で遂行したい、すべてのビジネスパーソンへ。

01

### 重要判断を複数検討

必要な独立案だけを比較・反証

02

### 部署を横断する知識

変化を関係部署の再検討へ

03

### 仕事とAI活用の評価

総合評価から個別根拠まで

# 高性能なAIでも、間違える。 確認とやり直しに、 時間を費やしていませんか？

モデルの性能だけに頼らず、独立検討、比較・反証、会社知識との照合、重要度判定、段階的な上申を一つの仕事の流れにします。

1

## 部内最大4役で検討

専門AI 2役が独立検討し、比較・反証役と部門統合役が結論を磨く。

2

## 部署内で比較・反証

一致・相違・根拠の強さ・未確認・見落としを整理する。

3

## DIVISION LEADが部門案を統合

各部署の統括エージェントが、反対意見と残る危険も含む案にする。

4

## CHIEF OF STAFFが全社整理

専門判断をやり直さず、部門間の相違・影響・優先順位・社長判断点の一つにする。

5

## 人が決定

承認・却下・修正・保留を選び、根拠と結果を会社知識へ残す。

AIの誤りをゼロと主張しません。誤り・未確認・見落としを、人の決定前に見つけやすくする仕組みです。

# 「来週公開したい」を、 部署をまたいで実行案へ。

重要顧客の要望には、顧客価値だけでなく、契約、特許、技術、安全、採算、運用が同時に関係します。

## 案件

新機能を来週の展示会までに公開したい

### 顧客・事業部

#### 優先度は高い

対象顧客を限定すれば価値と採算を確保

### 法務部／知財部

#### そのまま公開は不可

契約条件と出願前情報を別々に検討して先に確定

### 技術・安全部

#### 限定公開なら可能

権限を絞った段階配備なら安全条件を満たす

### 財務・運用部

#### 支援体制が必要

短期対応費と問い合わせ担当の確保が条件

## CHIEF OF STAFFの社長向け整理

### 契約追記後、対象顧客限定で段階公開する

各部署で揉まれた結論をやり直さず、対立点・影響・優先順位・社長が決める点を一つの報告へ整理します。

# 仕事をするたび、 部署を越えて知識が育つ。

許可された各フォルダを索引化し、現在有効と過去・撤回・未承認を分離。全AIが同じ最新版と根拠を読み、変更が関係部署へ与える影響を検出します。

## 会社の記憶

仕様変更を広告LP・営業資料・契約・操作手順の再確認へ連動。

## 必要なメール

Google Workspaceで利用者が選んだメール・案件だけを取り込む。

## 小さな実装変更

Codex・Claude Codeの差分を影響部署と会社知識へ連動。

## モデル・費用

役割別にSonnet 5/Opus 5を選び、起動数と利用量を表示。

### 契約組織ごとの分離

- 利用する部署・専門AI・上申経路を会社ごとに構成
- APIキー、作業フォルダ、会社知識、監査、費用を顧客間で分離
- 非エンジニアも案件投入、確認、承認、検索を画面から操作

# まず評価する。 その根拠まで、詳しく見られる。

SYNAPSEは、組織・部署・個人の総合評価を先に示し、案件・行動・成果・AI活用ごとの個別評価へ掘り下げます。

今期の総合評価

A

複雑な部署横断案件を主導

AIの出力を検証・修正し、再利用できる知識として組織へ残したことを評価。

仕事の水準

A

AI活用

A

成果・確認品質

A

組織知への貢献

B+

## 評価の明細

|         |                    |    |
|---------|--------------------|----|
| 案件の難易度  | 部署横断・期限制約・重要情報あり   | A  |
| AIへの任せ方 | 独立案を比較し、根拠不足を差し戻した | A  |
| 成果物の品質  | 責任者承認後の再作業なし       | A  |
| 作業時間    | 取得方法と不確実性を明示して参考利用 | 参考 |

評価基準と重みは会社が設定し、本人も根拠を確認できます。SYNAPSEは評価を生成しますが、給与・処分・昇進などの最終的な人事判断は権限を持つ人が行います。

# 特許や非公開情報を扱うことを、最初から前提に。

誰が、どの情報を、どこから、どのAIへ渡せるかを、利用者・情報区分・接続経路ごとに制御します。

## ■ 利用者別の情報区分

知財、人事、財務、顧客情報、秘密などを利用者単位で制御。

## ■ 認証を重ねる

Authenticator二段階認証、IP許可、公開入口認証、TLS。

## ■ AI送信を最小化

案件と処理に必要な許可済み情報だけをAIへ渡す。

## ■ 秘密を分離

APIキーやOAuthトークンを本文、ログ、プロンプトに残さない。

## ■ 履歴を追記専用で保持

承認、差し戻し、権限変更、会社知識の変更を監査可能に。

## ■ 会社ごとの作業環境

API資格情報、作業ルート、データ、バックアップを顧客間で分離。

導入相談受付中

会社の業務・情報区分・AI構成に合わせて導入します。

s-ynapse.com | 株式会社T-REX SOLUTION | trx.inc

# システムを変えたら、 広告LPも変える。

Codex・Claude Codeによる小さな変更も差分で受け取り、古くなる可能性がある周辺情報と担当部署を洗い出します。AI開始直前にも再確認します。



1

**小変更も検出**

Git・ファイル指紋・作業報告で差分を残す

2

**影響候補を抽出**

関連資料と担当部署へ再確認を起票

3

**部署内で検討**

複数AIが独立検討し、比較・反証

4

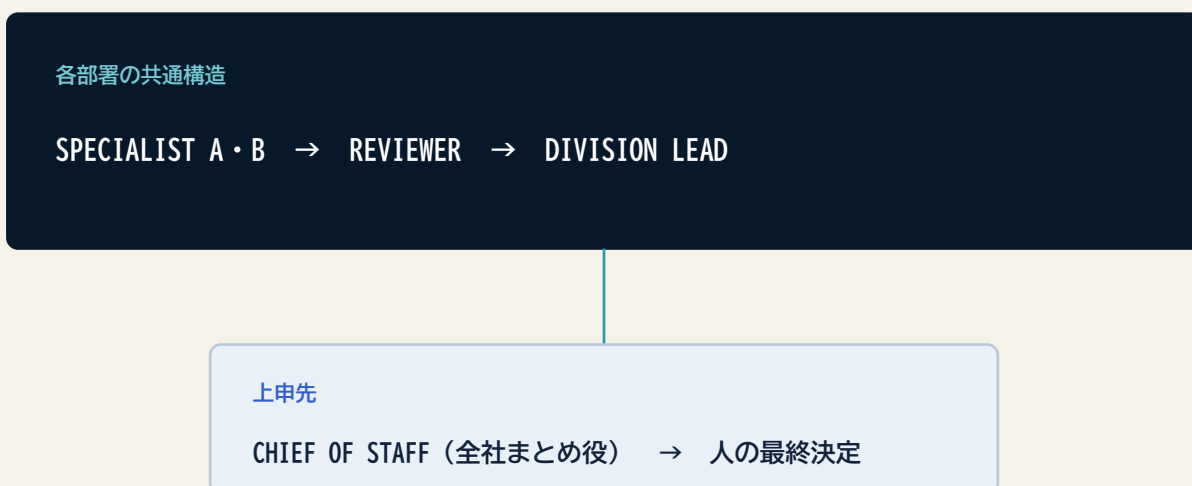
**承認して反映**

人の判断後、実装と公開結果を記録

変更を自動で公開するものではありません。SYNAPSEは影響と更新案を示し、担当者の確認と承認を待ちます。

# 法務を核に、必要な部署と上申経路を設計する。

法務は標準搭載。それ以外は会社の業務と責任構造に合わせ、部署、役割、情報範囲、上申先を構成します。営業部がない会社へ営業AIを固定しません。



# SYNAPSEの外で行う仕事も、 会社知識へ戻す。

AI社員が検討と指示を作り、人が定額のCodex・Claude Codeで実装。小さな差分もAIなしで受け付け、影響部署と案件へ関連付けます。



APIキー、OAuthトークン、パスワードは会社知識・ログ・AIプロンプトへ書きません。契約組織ごとの秘密保管から必要時だけ参照します。

# 会社の経験から、 数値と内容を磨く。

X・TikTok・Instagram・Facebook等を追加できる接続方式です。会社ごとの指示・成功・失敗・過去実績を、次の計画へ戻します。

01

## 会社専用の媒体接続

SNSアカウントと秘密保管庫のOAuth参照を組織ごとに分離

02

## 会社知識を共通化

現在有効と過去を分け、許可済みの指示・経験・根拠を全AIへ共有

03

## 数値を常時計算

AIなしでCPA・CTR・CVR・不足データ・承認状態を見える化

04

## 必要なAIだけで精査

費用と内容を独立検討し、重要案は比較・反証して次の仮説へ

05

## 法務と人が承認

投稿・出稿・予算変更を人が決め、結果と学びを次へ戻す

### 自動化の境界

AIがCPA・反応・内容を精査し、比較結果と最適案を可視化。ただし投稿・出稿・増額・延長・対象変更は、法務確認と人の承認後に行います。

# 概算、上限、残高を、 混ぜずに見る。

取得方法が違う費用を合算しません。軽い処理はAIなし。担当はSonnet 5、比較・重大統合はOpus 5など、役割と重要度でモデル・思考量を選べます。

## SYNAPSE自身の実績

**\$0.00**

AI呼び出しごとの概算費用とトークンを案件へ保存

## 月の上限

**\$50**

SYNAPSEワークスペース | 2026-09-08確認

## 前払い残高

**\$100**

組織全体 | 手入力 | 2026-09-08確認

## 表示を分ける

Anthropic API（ワークスペース別）／前払い残高／Claude Code定額／OpenAI（Codex）

実行前にAI構成・API呼出回数を表示。30日以上未確認の手入力値には『古い可能性』を表示します。

# 評価を出す。 同時に、説明できるようにする。

総合評価だけで終わらず、案件、行動、採用・修正・却下したAI提案、確認した根拠、成果の変化までたどれます。

|        |               |    |
|--------|---------------|----|
| 仕事の水準  | 難易度・影響範囲・責任   | A  |
| AI活用   | 指示・比較・検証・修正   | A  |
| 成果     | 品質・期限・手戻り・効果  | A  |
| 組織への貢献 | 知識化・再利用・他部署支援 | B+ |

## 評価の安全境界

- 本人は総合評価、個別評価、根拠、基準、重みを確認できる
- 操作時間を生産性と同一視せず、取得方法と不確実性を表示
- 異議・補足・再評価を履歴として残す
- 給与・処分・昇進などの最終判断は権限を持つ人が行う

# 複雑なプロジェクトを、 より高い完成度で。

業種や技術職に限りません。複雑な仕事を、短い時間で、より確かな成果へ進めたい、すべてのビジネスパーソンのための仕組みです。

- |    |             |                               |
|----|-------------|-------------------------------|
| 01 | 対象業務を決める    | 最初に通す1案件と責任者を決定               |
| 02 | 情報と権限を分ける   | 利用者・情報区分・IP許可を設定              |
| 03 | AI組織とモデルを構成 | 役割、上申先、Sonnet 5／Opus 5、思考量を選択 |
| 04 | 会社知識を取り込む   | 出典・状態・根拠・矛盾を確認                |
| 05 | 実案件で運用      | 検討・承認・実行・報告・評価を一周             |
| 06 | 対象部署を広げる    | 結果を見て連携と自動化を追加                |

導入相談受付中

SYNAPSEを、自社の仕事へ。

s-synapse.com | 株式会社T-REX SOLUTION | trx.inc